

## テルフォード補習授業校案内

ホームページ<<http://www.kew.net/~tlf-jpn>>  
校長室Eメール<[tlf-jpn@ma.kew.net](mailto:tlf-jpn@ma.kew.net)>

### 1. 補習授業校とは

補習授業校とは、現地の学校や国際学校（インターナショナルスクール）に通学している日本人の子どもに対し、土曜日や放課後等の時間を利用して、日本国内の小学校または中学校の一部の教科について日本語で授業を行う教育施設です。

現在、世界各地に180校以上の補習授業校がありますが、その発端は、海外進出した日本の企業が、その子弟の日本語力の維持といった目的で、保護者を中心に企業立学校として設立したケースが多いようです。

テルフォード補習授業校も、1984年にそうした事情から設立されました。つまり補習授業校は『自分たちの学校』と言えます。このことからその運営にあたっては、文部科学省やロンドン総領事館などを通し日本政府からの援助もありますが、第一に企業や日本人会からの支援と保護者の受益者負担によって成り立っています。

今日では国際化に伴い本校も含め、補習授業校へ通学する児童・生徒の中には、国際結婚をされた日本人の方の子どもも増えてきましたし、例外的にご両親とも日本人以外というケースもあります。また、国語（日本語）のみならず、算数（数学）や社会、理科などを加えた授業を実施したり、幼稚部や高等部を併設する補習授業校もあります。

### 2. テルフォード補習授業校の教育

本校の学校教育目標は『英国の現地校の教育と共存する形で、国語を中心とする補習授業校を経験させる事を通して、日英両国の文化を理解させるとともに、将来の国際社会で貢献できる人材の育成を図る』であります。つまり日本人としての自覚を育てながら、国際人としての素養を高める事をめざしています。具体的な子ども像としましては、「物事に進んで取り組み、豊かに自己を表現する子どもたちの育成」ということを掲げています。

子ども達が月曜から金曜まで現地校で使うエネルギー量は大変なものだと思います。母語が日本語の子にとってはなおさらなことであり、疲労も大きいと考えられます。それでも通学が義務ではない土曜日の補習校を楽しみに登校する子ども達、いろいろな現地校に通学している日本人の子どもが一堂に会する数少ない機会であります。

そんな子ども達に補習校では、日本人としての基本的な生活習慣や文化などを教える場であると同時に、現地校で学んだりイギリスで経験した事と補習校で学んでいる日本の学習を融合させ、多様な見方や考え方を育てる授業の展開が教育目標の達成につながると考えています。

### 3. 学習教科

日本の教科書をベースに使い、1単位45分授業で、午前（10：20～13：00）国語3時間、午後（14：00～15：35）算数・数学2時間を行っています。算数・数学は補習校規約上は希望受講制ですが、教育目標達成のためにも全員が受講することを願っています。

年間授業時数が国の定める標準時数の60%前後と少ないので、基礎基本的な内容を中心に指導しています。

なお、本校は日本の学校で採用されている教科書を使用し、国語・算数（数学）を日本の文部科学省の指導要領に沿って学習する学校であって、日本語そのものを学習する語学学校ではありません。また、本校は公教育をめざしていますので教科学習のみならず、同年齢の子ども達が学校生活を共に過ごすことを通して、その年齢相応の社会性や学級集団としてのまとまり、生活力などを身につけ

せていくことも指導していますので、国語力（日本語力）が弱いからといった理由で、学級から取り出しての特別指導などは行っていません。実際の授業では各学級の担任により、可能な限りその子の実情に応じた個別対応をするように努力しています。

#### **4. 登・下校時間**

登校時間は10：00AM、下校時間は3：40PM（国語のみの場合は1：05PM、昼の時間をみんなと過ごす場合は2：00PM）です。送迎は、安全管理上の面からも各ご家庭で補習校の教室まで、あるいは教室のある校舎2階の廊下までお願いします。校門前駐車場までの送迎では、お子様の安全は確保できません。

遅くとも5分前までには登校するようにして下さい。なお、毎月最初の授業日には、10時から全校朝会があります。朝会は教室とは離れた場所で行いますので、少し早めの登校をお願いします。

#### **5. 教科書および教材**

教科書は、世界中の日本人学校、補習授業校共通で、日本国内で最も採用数の多い発行会社の今日楷書を使用しています。これは文部科学省から総領事館経由で補習校に送られてきます。すでにお子さんが英国に入国されている場合で、補習校に入学・編入学される場合の教科書は、補習校で配布します。入学式・始業式の日に上巻及び一年間使用するものを、9月末頃に下巻を配布します。日本国内同様、義務教育段階は無償給付です。

教科書以外の授業で使用するワークブックやドリル類と低学年用国語・算数の一冊目のノートは、補習授業校の予算で購入しお渡しします。但し、ワーク、ドリル類を紛失してしまったような場合は、学校で予備においてあるものを実費負担で購入していただくか、個人購入していただくこととなります。また、二冊目以降のノート類は各自でご購入いただくことを原則としています。なお、教科書を紛失された場合の予備は補習校にはありませんので、受領したその日のうちに記名し、管理に十分気をつけて下さい。

#### **6. 学校行事および発表会**

入学式・卒業式といった儀式的行事、運動会（マンチェスター補習授業校と合同）・スポーツ大会・遠足のような体育的行事、文化的行事としての書初め会とその展示会、読書感想発表会の他に、宿泊を伴う修学・体験学習旅行（ここ数年間は小学部5年生～中学部3年生、及び卒業生の希望者が参加）、授業参観（日時指定のものは年間で国語、算数・数学各1時間）、それに普段の学習の成果を発表する音読発表会・研究発表会・劇発表会など、日本国内の学校で行われているような行事を出来るだけ取り入れ、子ども達の励みの場とすると同時に学校生活に変化をもたせるようにしています。

また、これらの行事や催し物では、運営委員をはじめとして多くの保護者の皆様のご理解と積極的なご協力をいただいております。

#### **7. 保護者の学校への協力**

補習授業校は、週に一日だけの登校です。どうしてもいろいろな場面で、先生や運営委員だけでは準備や運営が困難です。各行事での諸係（運営・準備・後片付け）、父母日番や見回り当番（具体的内容は別紙「父母の学校運営への参加」をお読み下さい）などへの協力をお願いします。

小学部1・2年など低学年では、保護者の方による絵本や紙芝居などの読み聞かせを行っていただいています。また、時にはお父様、お母様方の社会体験や特殊技能などを、補習校の教育の中で実習や講話、特別学習指導など“出前先生”といった形で子ども達に還元していただくこともお願いしています。

#### **8. 小学部1年に向けてのご家庭での準備**

① 入学前に読み書き、計算をあわてて教えていただく必要はありません。むしろ、日常生活の中でお子さんとの日本語による会話を出来るだけ多くするように心がけたり、お父様やお母様による本の

読み聞かせをしていただいて語彙を増やすなどといったことを大切にしてください。

もちろんお子さんが、ひらがなの字を書くことなどに興味を示すようでしたら、文字の読み書きをさせていただいて構いません。但し、その場合も無理に教え込もうとされるのではなく、一緒に楽しむといったつもりでお願いします。

② 全ての持ち物には必ず記名をしてください。また、学習用具の準備や後片付けなど、自分の持ち物の整理整頓がしっかりとできるようにしてください。

③ 「おはようございます」「こんにちは」「いただきます」「ごちそうさまでした」「さようなら」などの挨拶や、「はい」とか「いいえ」などの返事、がしっかりとできる子であってほしいと願います。また、「ありがとう」「おねがいします」などの意思表示ができること素晴らしいと思います。ご家族の間では意外と見過ごされてしまいがちですが、家庭でできないことは外でもできません。

④ 学校では 45 分の授業を 5 時間受けます。「席」に長い時間座れるよう、練習させてください。お子さんが勉強をするときには、ご家族の皆さんも一緒に座って読書をする、といった共に静かな時間を持つことがとても大切です。

⑤ 学校では、自分の思ったことを相手に分かるように伝えるということと、先生や友達の話をしっかり聞ける、ということがとても大切になります。ご家庭でも、話をしている人の顔を見る、相手（他人）が話をしている間はそれを聞き、そのあとで自分の話したいことを話す、といったルールを少しずつ教えて下さい。

⑥ 補習校は週に 1 日の登校で、授業時数は極めて限られています。そのため、小学校低学年といえども字の練習や本読みなど、どうしても家庭学習（宿題）になる部分があります。宿題が出ましたら、出来るだけその日のうちに終わらせるよう、保護者の方の指導・助言をよろしくお願いします。ただ、どうしても時間的にやり切れなかったり、内容が理解できずにわからなかったりした場合は、睡眠時間を減らしてまで無理やりやらせるのではなく、次の土曜日にその状況や理由を連絡帳などで担任の先生に伝えて下さい。

⑦ 補習授業校の主な目的の一つに、子ども達が日本に帰国したときの戸惑いをできるだけ少なくする、ということがあります。そのため当補習校でも日本の学校でよく行われるような行事を可能な限り取り入れたりしていますが、ご家庭においても是非できる範囲で伝統的な日本の年中行事を取り入れたり、話して聞かせてあげるような機会を多く持っていただきたいと思います。また、補習校でも気をつけますが、ご家庭でも親子ともども正しい日本語を話すよう心がけて下さい。

⑧ 補習授業校は週 1 日です。あとの 6 日間は、現地校に行っている時間を除いて、ご家庭が学習のための教室になります。つまりお母様、お父様が先生ということです。このことは日本的な文化に接したり、日本語使用の環境が限られている中で、日本で生活されているとき以上に強く意識しておいていただく必要があります。どうぞ子どもたちの未来のために、お子さんと一緒に学習し、日本の習慣が身に着くように取り組んでいただきたいと願います。

《参考に》入学前のチェック項目（朝日新聞より引用 ※一部変更しています）

- ① 食事の時間にテレビを切っていますか
- ② 今日 1 日、親子でどんな会話をしたか言えますか
- ③ 人に名前を呼ばれて「ハイ」と返事できますか
- ④ 思ったことや困ったことを大人に言うことができますか
- ⑤ えんぴつやハシは正しく持てますか
- ⑥ 明日の持ち物の用意を親と一緒にできますか
- ⑦ 夜は早く寝ていますか
- ⑧ 朝食は食べていますか

## 9. 補習校に対するQ&A

Q1	欠席や早退・遅刻などの連絡は？
A	それらのことが1週間以上前にわかっている場合は、補習校事務室に所定の用紙がありますので、それを事務担当者より受け取っていただいてご記入の上、事務担当者又は校長にご提出下さい。当日の欠席など突然の場合は、当日の朝9時55分までに補習校事務室（TEL=01952-595382）へ電話でご連絡下さい。 なお、欠席・早退の場合、宿題等の扱い方法に関する指示（郵送、友だちに預ける etc.）をお聞かせいただくとともに、受け取りをどなたかにお問い合わせする場合は、そのことを受け取っていただく方にも必ず連絡しておいて下さい。
Q2	学校で体調が悪くなった場合の対応は？
A	担任（教科担当者）が様子を見て、「休ませた方が良い」と判断すれば、父母当番室に連れて行き、そこで横にさせるなどして、あとはお当番の方に見ていただきます。早く帰宅させたほうが良い状況なら、保護者の方に連絡を取り、迎えに来ていただくこともあります。ただ、英国の規定では、資格のない者が薬を服用させたりすることを禁じていますし、万が一副作用が出たりしたら大変ですので、学校には解熱剤的なものも含め薬類は置いていません。 けがなどに対しましては止血程度の応急処置はしますが、緊急を要する場合は救急病院へ搬送するといった手立てを講じることにしています。
Q3	お菓子や遊具の持参は？
A	お菓子は、原則持参を認めています。その飲食は昼食時のみで、立ち歩きの飲食は認めていません。但し、できるだけ昼食用お弁当だけで過ごせるようにご家庭でのご協力をお願いします。なお、ガムのように長時間口の中に残ったり、周りを汚す可能性があるものは持参させないで下さい。ごみ類は自宅に持ち帰ってもらうことを原則とします。 遊具は、DSやカバンに入らないような大きなものや、危険性があるものは持参を認めていません。また、その使用は休み時間だけで、もしも授業中に取り出したり使用したりしていた場合は授業担当者が一時預かり保護者に事情を話して返却することになっています。天気の良い日の20分休みと昼休みは、出来るだけ校庭に出て遊ぶことを勧めます。
Q4	教室使用後の清掃活動はありますか？
A	当補習校の教室（校舎）は、現地校のものを土曜日だけ借用料を払ってお借りしています。従って、最後の授業が終了したら担当教員の指示に従い、みんなで協力して机の配置など全てを最初の状態に戻してから下校します。その際、机上や棚の上の汚れなどはぬれ雑巾で拭き、また、床に落ちたごみ類は拾ったり、事務室に保管してある掃除機を使ってきれいにします。ゴミ箱のゴミも父母当番室前に置かれたゴミ袋に捨てます。こうした作業に必要なため、家からぬらした雑巾をビニール袋などに入れて持参してもらっています。
Q5	学校に忘れ物をしてしまった場合は？
A	下校後3時55分頃までに気がつければ、補習校事務室の方に来てみて下さい。それ以降は校舎が施錠されてしまいますので入れません。その場合は翌週の火曜日以降、校長室（TEL=01952-257294）にお問合せ下さい。 ウィークデーは現地校が教室を使用していますので、忘れ物がどこかへいってしまうこともあり得ます。補習校の下校時にお弁当箱など、持ってきたものが全部あるか、お子さんと一緒に確認していただけたらと思います。
Q6	授業参観は年間国語と算数（数学）の各1時間だけ？
A	2004年度より、事前に授業担当者の了解を取っていただければ、年間いつでも自由に授業を参観できるように改めました。事前の了解が必要な理由は、急に来ていただいてもテストなどで授業を見ていただけない場合もあるためです。これまで「授業参観」と銘打つと、子どもが緊張感から普段の姿を見せなくなってしまう、といったようなことが多く、参観の目的が達成出来なくなっていました。ただ、「自由に」と申しても、なかなかお一

	人で教室には入りにくい方もいらっしゃるかもしれないということから、年間各2時間1学期（国語）と2学期（算数・数学）を授業参観の時間として設定しています。
Q7	通知表はありますか？
A	毎学期担任及び教科担当者が通知表（具体的な名称は、国語は小学部「あゆみ」中学部「通知表」、算数・数学は小中共に「算数（数学）評価カード」）に生活面、学習面の所見を書き、お子さんを通して渡しています。所見の表現は保護者の方向けを原則としています。以前は◎○△、ABCによる評定もつけていたのですが、日本語による学習環境が一人一人異なる状況の中で、評定をつける側のねらいと違って、子ども達の中で比較の対象になってしまっていることを反省し、2001年度より「具体的な所見」のみに改めました。なお、必要に応じて担当者からのプリントが発行されることもあります。また、通知表には、お読みいただいた後保護者の皆様にお書きいただく欄も設けてありますので、保護者のお立場での担当者宛のコメントをお書きいただければ幸いです。
Q8	子ども達の安全管理はどのように？
A	世界各地で子どもをねらった犯罪が頻発するようになりましたが、ここテルフォードといえども例外ではありません。毎週土曜日の補習校で、子ども達が安心して学習や諸活動に励めるよう、運営委員会を中心に検討が重ねられ、2004年度の途中から（1）校舎出入口の状況を監視する「簡易型監視カメラ」の設置（2）子ども達が校庭で遊ぶことが多い午後1時から2時までの昼休み時間に限定した現地警備会社の警備員による監視と巡回（3）登下校時間を除く時間帯の校門の閉鎖（途中での出入りがあるため施錠は出来ませんが、扉上部のカンヌキを活用）を実施しています。また、運営委員の皆様や保護者の当番による休み時間の見回り監視を、年々強化していただいています。 2009年度からは、火災発生などを想定した避難訓練と、不審者が校地内に侵入した場合の避難訓練を実施し、今後とも年に数回実施していく予定です。 しかし、こうした対策をとったからといって「絶対に安全」など言うことはできません。以下のことは保護者の皆様や子ども達が、常に心がける必要のあることですので、ご協力のほどよろしくお願いします。 ①年齢・学年にかかわらず、お子さんの送迎は必ず校舎内まで（駐車場で「行っていらっしやい」、「駐車場で待っているからね」というのは絶対にダメ！！）②校舎内外の立ち入り禁止の所へは行かないようにする<●小学部6年教室側の階段は緊急避難の場合以外は使用しない●1階の廊下使用は男子トイレまででそれより先には行かない●中庭の使用は登下校時を除き許可があった場合のみ>③校舎内外を問わず単独行動はやむを得ない場合を除き避ける④校庭では外周フェンスの近くで遊ばない⑤不審者を見かけたら直ちに運営委員や教職員に連絡をする。

Q9	緊急電話連絡網や住所録の発行は？
A	「緊急電話連絡網」は、原則年度始めと学期のはじめに発行し、お子さんを通して各ご家庭に配布しています。学期途中であっても、転出入などで大幅な変更が生じた場合は、必要に応じて改訂版を発行します。ただ、連絡網に掲載する電話番号はご自宅の固定型電話の番号を原則としているため、土曜日の補習校授業日に連絡を取ろうとおかけしても留守で、連絡がつかないことがあります。そこで、これとは別に、入学・編入学時にご提出いただく書類の中で、土曜日に確実に連絡がつく携帯電話番号などの登録もお願いしています（他の目的には一切使用しません）のでご協力下さい。また、電話番号や住所が変更になった場合は、所定の用紙が事務室にありますので、それによって速やかに変更をお届け下さるようお願いします。 「住所録」は、かつてはお子さんが所属する学年全員のものを配布していましたが、昨今は、こうしたものが名簿業者に売られて悪用されるなどのケースもあることもあり、慎重に扱う必要が出てきました。そこで、学校としては宿題の郵送などの必要性があるため住所録の作成はしますが、保護者の皆様にお配りすること致しておりません。

	ただ、当地に来られたばかりで、どなたがどこにお住みなのかも分からず援助を求めることもできない、というようなお困りの場合も想像できますので、そのような場合に限り、保護者の方から校長か事務担当者へのお申し出があれば、いろいろな対応を致したいと思っておりますのでご相談下さい。
Q10	保護者が中心となったお誕生会やお別れ会を学級でできますか？
A	その内容にもよりますが、基本的にはできないとお考え下さい。かつては行われる場合もあったのですが、昼食時間に始めた会が午後からの授業時間に食い込んだり、内容が次第に派手になってきたりしたため、お断りするようになりました。こうした会は、個人宅など学校外でやっていただくことを基本的原則としています。ただ現在も、先ず担任へご相談いただき、各自の住居地が遠く離れているなど特別の事情があり、その内容等に関して「この程度の内容と時間なら」と担任が認めた場合に限り、実施できる余地は残しています。但し、せいぜい各自が持参したお弁当と一緒に食べた後、ゲームなどをみんなでやって楽しむ、といった程度の内容までです。また、カード類の受け渡しは構いませんが、プレゼント品の交換などはご遠慮下さい。
Q11	クラスみんなにプレゼント品などを配ることは？
A	「一時帰国してきたのでクラスみんなに日本の品をプレゼントしたい」「子どもの誕生日なのでお菓子をみんなに配りたい」といったご希望が時々出されます。お気持ちはよくわかるのですが、こうしたことは他のかたにも影響を与え、エスカレートしがちですし、いただいた食べ物をすぐ口にしたり、物を粗末にしたり、もらうことが当たり前と考える子が出るなど、本校の教育方針とは相反する方向にいきがちですので、学校内におけるそうした行為はお断りしています。但し、クリスマスカードを含むカード類の交換程度は認めています。
Q12	入学・編入学時に揃えておいた方がよいものは？
A	教科書、ノート、ドリル類のことは既に「5. 教材は？」で書きましたので、ここではそれ以外に揃えておいていただきたいものをお知らせします。①それぞれの学年相応の「国語辞典」「漢字字典」「漢和辞典」など（学校でもある程度の数は揃えてありますが、特に家庭学習の際に必要となります）②習字セット（例年1月に「書初め会」を実施しています。それへ向けて家庭で練習する場合や、書初め会当日に必要となりますので、適当な量の墨汁などと共に用意して下さい）③弁当箱・水筒類（昼食はお弁当持参となります。お茶などの飲み物も必要となります）
Q13	授業料などの納入は？
A	4月又はお子さんの編入時にお渡しする「学校要覧」に、詳細が記載されていますのでお読み下さい。基本的には、学校側からの「授業料等納付のお願い」の文書がお手元に届いてから納入していただくことになっています。
Q14	帰国・転学などで退学する場合の手続きは？
A	ある程度そのことが分かった段階で、先ずは校長にお知らせ下さい。次に、出来るだけ退学の1ヶ月前までに補習校事務室にある所定の用紙を事務担当者より受け取っていただいてご記入の上、事務担当者又は校長にご提出下さい。提出された書類に基づき「在学証明書」「教科書給付証明書」「担任からのコメント」などの書類を作成し、補習校への登校が最後になる日かその前週に保護者の方へお渡ししますので、編入する学校の責任者に直接お渡し下さい。

## 10. 何でも相談下さい。

補習校に関する事、お子さまに関する事など、何かありましたら気軽に相談にお出下さい。

補習校事務所 54A Hollies Road, Wellington, Telford, TF1 2AX TEL 01952-257294